



音羽中学校
学校だより

OTOSEMI 音翡翠

令和7年12月1日(月)

第43号



校庭のイチョウの木がみごとに色づきました。朝日を受けて、黄金色に輝いていました。イチョウは、「生きた化石」と呼ばれるほど長命であることから、花言葉の1つに「長寿」があるそうです。本校のイチョウの樹齢は、どのくらいで、今まで何名の卒業生を見送ってきたのでしょうか？音羽の山々も紅葉しています。木枯らしが吹くまでの間、短い秋が堪能できます。



「靴の色」

校則の改正に向けて



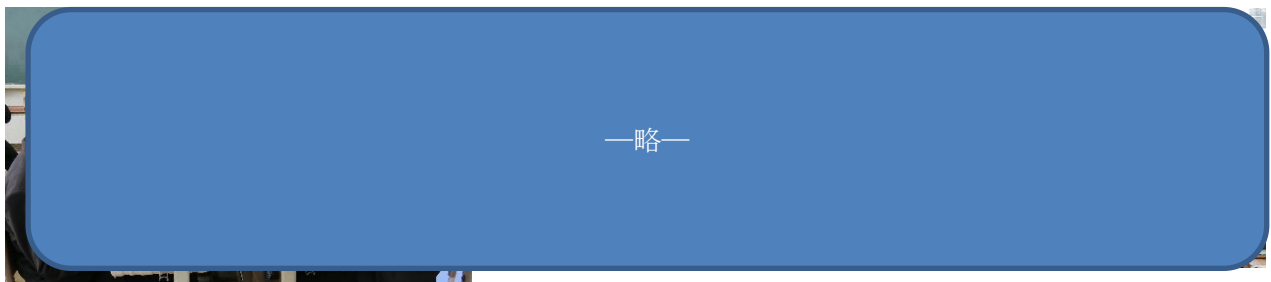
11月27日の生徒議会を受け、28日に級長が靴の色の校則の改正について発議の内容を学級に伝え、採決をとりました。結果がどのようなになったかは、後日お伝えします。校則改正について、生徒自身が参画したり、意思表示をしたりすることは、校則の意義を理解して校則を守ろうとする意識を育てたり、身近な課題を自ら解決する力の育成につながったりすると考えています。

わくわくもぐもぐキャンペーン(給食委員会)



11月28日(金)の給食の時間は、給食委員会の企画をもとに、各学級で給食隊形を選択して給食を食べる日でした。コロナ禍以来、前を向いてもくもくと食べることがあたりまえになっていた昨今、どうしたら共同的な楽しい食事ができるのか、給食委員とともに教職員も何度も議論して当日を迎えました。1つの円をつくって食べる学級、2列が向かい合わせになって食べる学級と各々選択した隊形で配膳や会食を行いました。

毎日、栄養満点で温かい給食をいただけるのは、本当に幸せなことです。栄養士さんや調理師さん、配膳員さん、用務員さん、給食委員さん、給食当番の皆さん、ありがとうございます。



校内を巡っていたら、またまた見つけてしまいました。A先生が朝の会の間に、宮路館を掃除している場面を。A先生は、毎朝校内を巡り、安全確認をしながら、教室や廊下の窓を開けてくれています。生徒の学校生活を支えている先生方、本当にありがとうございます。

